

2021 年度 北海道アダプテッド・スポーツ研究会について（実施概要）

2022 年 1 月 23 日（日）10:00～12:30（目安）

Zoom によるオンライン開催

注意：フォームでのお申し込み後、アクセスの情報をメールにて多くさせていただく予定です。また、1月20日19時ころまでにアクセス情報が届かない場合は、お手数おかけいたしますが、事務局近藤までご連絡ください。

スケジュール（予定）

1、開会・シンポジウム 10:00～11:30

テーマ「東京2020の実際から再考する地域でのスポーツ」

パラリンピック東京大会の実際の様子や、関わった内容など報告いただき、トップスポーツに関する各報告と北海道の現状を重ねつつ、地域において何が求められるのかなど、今後のスポーツのあり方について意見交換を行いたいと思います。

シンポジスト 三上友佳子さん、塚田鉄平さん、齋藤肇さん

コーディネーター 安井友康会長

報告の概要

三上氏

ゴールボールチームのアナリストとしての活動内容についてと、競技の裏側について(選手宣誓の裏側、開会式について、大会期間中の JPC とのやりとり、ゴールボール女子と、男子の大会期間中の動き、コロナ感染対策等)初めてパラリンピックに参加して、また、日本開催のパラリンピックに参加して、「へえー、そうなんだあ！」と感じたことについてお話しできればと思います。

塚田氏

車椅子ラグビーの選手用医療のPT主任を務めさせていただきました。直接関わった事が無いスポーツででしたので文献検索や競技団体からの聞き取り、競技会場環境の情報を収集し、選手をどのように救護するなどのEAP(エマージェンシーアクションを建てさせていただきました。地域スポーツでも現状あるリソースの中で考えていく必要がある事も含めて報告をさせて頂きたいと思います。

齊藤氏

テーマ：東京五輪 NTO(国内競技委員)の役割

フェンシング競技の NTO(National Technical Official)として東京五輪に係わった経緯とその役割、コロナ禍でのモチベーションの維持と実際の業務の様子、今後に向けた課題と展望などについて、オリンピックとパラリンピックの違いなどを含めて紹介したいと思います。

2、現況報告（実践/研究報告含む最近の活動動向を共有しましょう）11:30～12:30

各報告（10～15分、質疑5分）、3～4名程度募集予定（先着順、報告時間は状況により変更となります）

（全体進行・事務局 近藤）

参加ご希望の方は、下記の申し込みフォームより、お申込みください。参加費は無料です。

<https://forms.gle/jpkazpsMaSJDxTZq5>



ご質問等ございましたら事務局までお問い合わせください。

どうぞよろしく願いいたします。

ホームページ <http://hokutoku.net/ge/>

北海道アダプテッド・スポーツ研究会事務局

近藤 尚也（〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757 北海道医療大学看護福祉学部）

電話：0133-23-3182

メール：n-kondo@hoku-iryo-u.ac.jp